

環境報告書

Environmental Report

2016

対象期間；2015年4月～2016年3月



西川ゴム工業株式会社
NISHIKAWA RUBBER CO., LTD.

目次

	(ページ)
・会社概要	1
・環境マネジメント	1
・環境保護への取組み	2
・環境に配慮した技術の紹介	2
・廃棄物に関する取組み	3～4
・CO ₂ 排出量削減の取組み	4～5
・環境負荷物質の排出状況と水使用量	6
・2015年度の環境パフォーマンスまとめ	7
・環境コンプライアンス	8
・環境負荷物質の管理, 低減	8
・地域貢献活動, 環境保護活動, コミュニケーション	
(国内生産拠点)	9～10
(国内関係会社)	11
(海外関係会社)	12～13

会社概要 (2016年3月31日 時点)

【 会 社 概 要 】

社 名 西川ゴム工業株式会社 (NISHIKAWA RUBBER CO., LTD.)
 所 在 地 〒733-8510 広島市西区三篠町二丁目2番8号
 代 表 者 代表取締役 社長 西川 正洋
 設 立 1949年4月
 資 本 金 3,364百万円
 従 業 員 数 1,337名 (連結:5,948名)

【 事 業 内 容 】

自動車用部品 ゴム・樹脂シール製品, 内外装製品等
 一般産業資材 住宅関連製品, 土木関連製品, 等

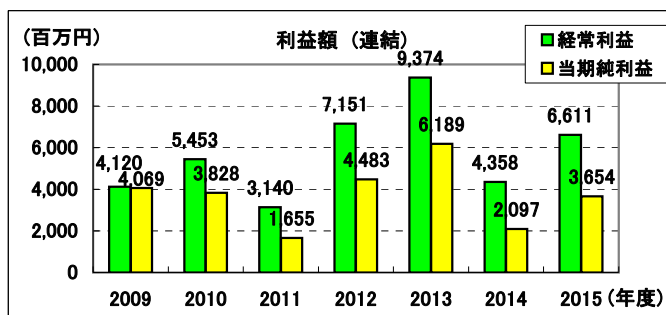
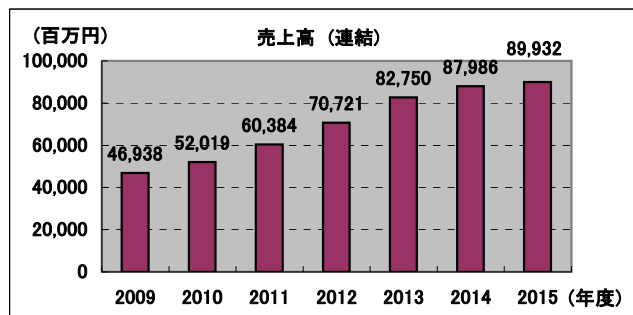
【 国 内 拠 点 】

工 場 白木工場, 吉田工場, 安佐工場, 三原工場
 営 業 所 横浜営業所, 宇都宮営業所, 浜松営業所, 名古屋営業所, 大阪営業所, 広島営業所, 山口出張所
 国内関係会社 西川物産(株), (株)西川ビッグオーシャン, (株)西川ゴム山口, (株)西和物流, 西川デザインテクノ(株)

【 海 外 拠 点 】

ア メ リ カ NISHIKAWA COOPER LLC / Nishikawa of America, Inc.
 タ イ Nishikawa Tachaplalert Cooper Ltd.
 中 国 上海西川密封件有限公司 / 広州西川密封件有限公司 / 西川橡胶(上海)有限公司
 メ キ シ コ NISHIKAWA SEALING SYSTEMS MEXICO S.A. de C.V.
 インドネシア PT. NISHIKAWA KARYA INDONESIA
 イ ン ド ALP NISHIKAWA CO., PVT. LTD.
 イ ギ リ ス Nishikawa Rubber Co., Ltd. Europe Branch

【 連 結 業 績 の 推 移 】



環境マネジメント

【 環 境 方 針 】

<基本理念>

当社は、環境保全を経営の重要課題として、社是(正道・和・独創・安全)の精神で、製品の開発・生産・販売の全ての段階において、「地球にやさしい事業活動」をグループ全体で取り組みます。

<行動指針>

1. 法令遵守

環境関連の関係法規制等、及び当社が合意するその他の要求事項を遵守します。

2. 環境に配慮したモノづくり

開発・設計から廃棄までの製品のライフサイクルにおいて、環境負荷物質の低減に取り組みます。

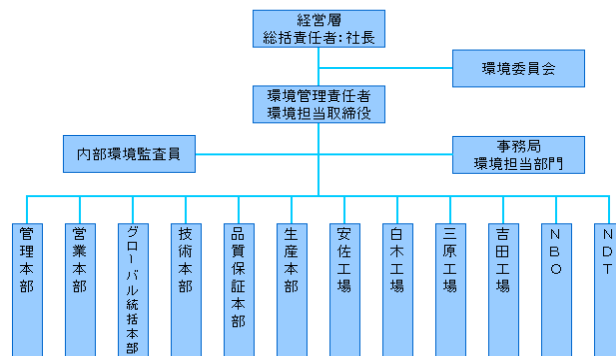
3. 環境負荷の低減

事業活動において、省エネルギー・省資源・リサイクル・廃棄物の削減、有害化学物質の使用抑制に取り組み、その継続的改善に努めます。

4. 社内啓発活動

全従業員の環境に関する法律遵守及び環境への意識向上を図るため、環境教育を継続的に実施し、全社的な環境保全活動を推進します。

【 環 境 管 理 体 制 】



● ISO14001認証取得状況

	取得時期	有効期限	審査機関
西川ゴム工業(株)	2000年12月	2018年9月	DET NORSKE VERITAS

環境保護への取組み (西川ゴム単体)

西川ゴム工業の環境側面をふまえて、環境目的・目標を設定し活動しています。

● 2015年度目標と結果

No.	取組み項目	2015年度目標	2015年度実績	備考
1	CO ₂ 排出量の削減	CO ₂ 排出量 39,900 t	CO ₂ 排出量 39,074 t	原単位/CO ₂ 排出量とも、計画を達成。 来年度以降も、中期計画により設定されている計画値に対し、削減活動を推進していきます。
2	CO ₂ 原単位の削減 (排出量 t/売上高)	CO ₂ 原単位 0.868	CO ₂ 原単位 0.868	
3	製品含有化学物質管理 システム構築(REACH規制対応)	化学物質全成分把握 調査把握 100%	化学物質全成分把握 調査把握 100%	
4	マテリアルリサイクルの推進	軽量化・樹脂化, マテリアル リサイクルの技術開発	軽量化・樹脂化, マテリアル リサイクルの技術開発	

● 中期環境目標(2015年度~2017年度)

No.	目標項目	2015年度目標	2016年度	2017年度
1	CO ₂ 排出量の削減	CO ₂ 排出量 39,900 t	CO ₂ 排出量 40,200 t	CO ₂ 排出量 39,000 t
2	CO ₂ 原単位の削減 (排出量 t/売上高)	CO ₂ 原単位 0.868	CO ₂ 原単位 0.833	CO ₂ 原単位 0.800
3	製品含有化学物質管理 システム構築(REACH規制対応)	化学物質全成分把握 調査把握 100%	化学物質全成分把握 調査把握 100%	化学物質全成分把握 調査把握 100%
4	マテリアルリサイクルの推進	軽量化・樹脂化, マテリアル リサイクルの技術開発	軽量化・樹脂化, マテリアル リサイクルの技術開発	軽量化・樹脂化, マテリアル リサイクルの技術開発

環境に配慮した技術の紹介

● 製造エネルギー有効活用の追求

『しなやかにフィット, 確実にシール』

私達がウェザーストリップをはじめとするシール製品づくりで目指していることはこの言葉に表されています。そして、その材料としては、現状、ゴムが最も適していると言えます。

ウェザーストリップは、主に押出・加硫(硬化)・塗膜・接着の4つの過程でつくられますが、その各々において、比較的多くの製造エネルギーを必要とします。

私達は今、そのゴムのモノづくりにおけるエネルギー効率を最大限に高めていくことにチャレンジしています。

それぞれの改善例は、およそ次のようなものです。

- <押出>: 押出機での高吐出スクリー開発により押出速度アップ … 約10%アップ
- <加硫>: 加硫炉内の加熱改善による時間短縮(速度アップ) … 約10%アップ
- <塗膜>: 塗装ロボットの動作最適化や乾燥炉の改善, 搬送の効率化による時間短縮(生産性向上) … 約20%アップ
- <接着>: 材料開発・設備改善による接着時間の短縮(生産性向上) … 約40%アップ



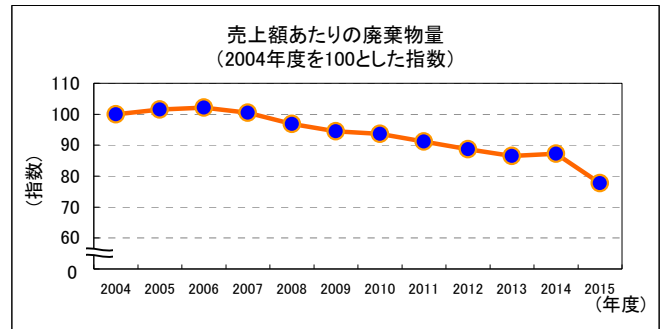
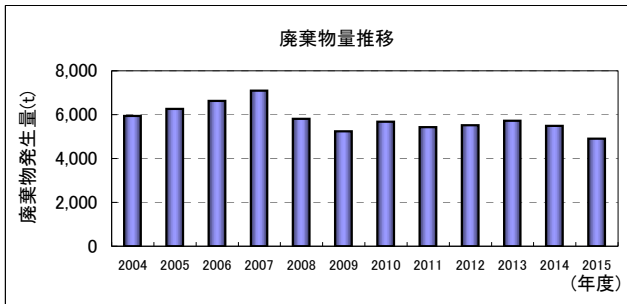
エネルギー効率アップで環境にやさしい生産を

これらの諸活動により、使うエネルギーを極力少なくするとともに、必要最小限のエネルギーは最大限に活用する、この姿勢・活動を今後も大切にしていきたいと考えています。

廃棄物に関する取組み

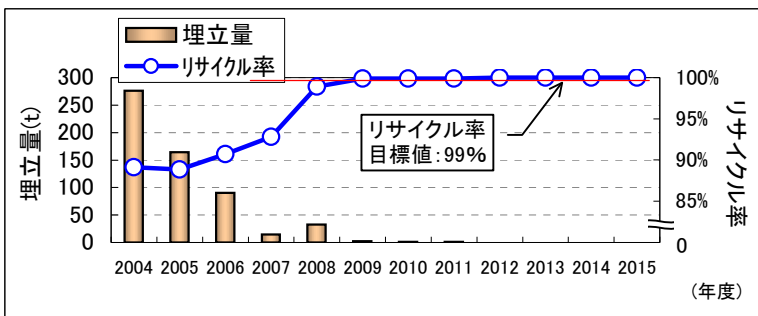
● 廃棄物量の削減(西川ゴム単体)

2015年度の廃棄物量及び売上額あたりの廃棄物量(原単位)は共に、前年度比で10%以上減少しました。当社では引き続き、歩留の向上、不良率の低減および全社で使用する木製パレットを耐久性のある樹脂パレットに変更する等、廃棄物発生抑制に継続的に取り組んでいます。



● リサイクル率の向上(西川ゴム単体)

埋立量・リサイクル率推移表



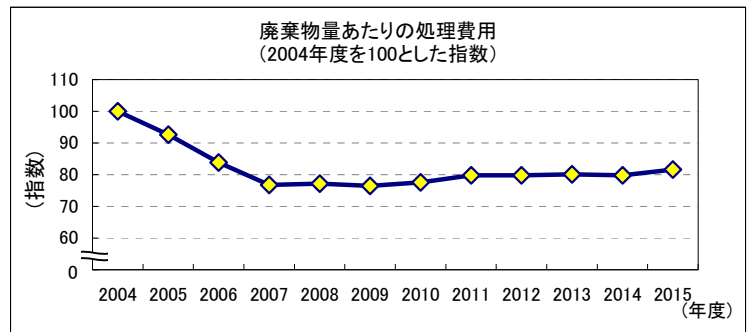
2009年度に、目標としてきたリサイクル率99%を達成し、2012年度以降100%を継続しています。

*1)埋立量: 直接埋立される廃棄物量
*2)リサイクル率: 埋立、単純焼却以外の廃棄物量/廃棄物の総量

● 廃棄物処理費用の削減(西川ゴム単体)

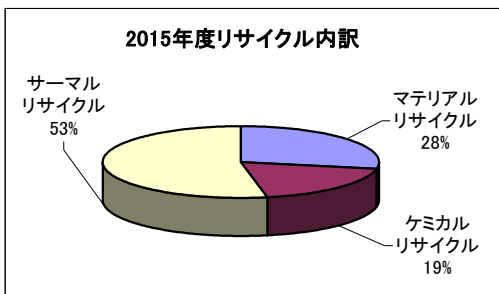
廃棄物総量の削減、リサイクル率の向上と合わせ、処理費用の削減にも取り組んでいます。リサイクル用途の検討や処理ルート工夫、新規委託業者の検討などの活動をしています。

※) PCB含有物の処理費用は、含んでいません



● リサイクルの内容について(西川ゴム単体)

当社のリサイクルの内訳は、28%がマテリアルリサイクル、19%がケミカルリサイクル、そして残りの53%がサーマルリサイクルです。



【マテリアルリサイクル】

ゴムの廃材を利用したゴム板を作成し、一部の自動車のガソリンタンク緩衝材や住宅の防音床や、人工芝用資材として、又 ポリエチレンシートの端材をエアコンのドレンホースの材料として再生されています。



【ケミカルリサイクル】

ゴム廃材を連続乾留し、生成された芯金と炭化物をそれぞれ売却しています。



【サーマルリサイクル】

セメント会社の原燃料として利用されています。また、RPF (Refuse Paper & Plastic Fuel の略称で固形燃料) の原料の一部となり、多くは製紙会社の燃料として利用されています。



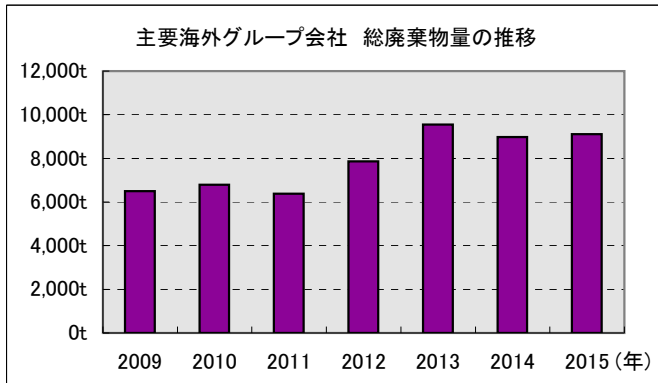
● 廃棄物の有効利用(西川ゴム単体)

工程内ゴム廃材を炭化させたものとアスファルトを組み合わせることにより、丈夫で安価な排水性アスファルト混合物を作ることになりました。



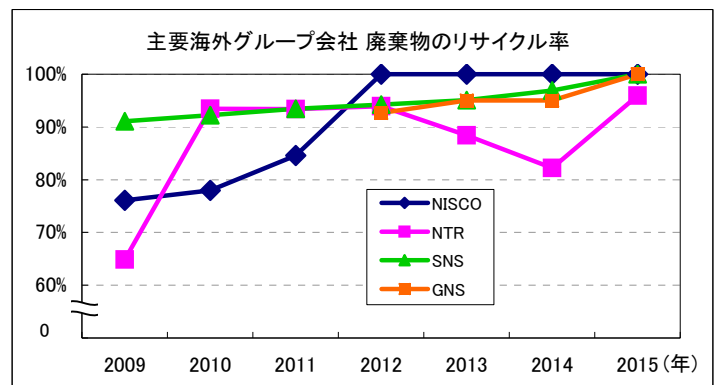
乾留技術の詳細については、
http://www.nishikawa-rbr.co.jp/technology_recycle.php
 炭化物をアスファルトへ添加する技術の詳細については、
http://www.nishikawa-rbr.co.jp/technology_asphalt.php
 をご参照ください。

● 主要 海外グループ会社の総廃棄物量とリサイクル率



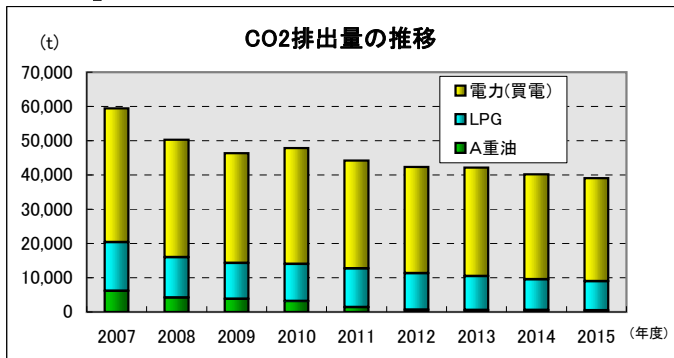
海外グループ会社でも、廃棄物のリサイクル率の向上を目標として取り組んでいます。
 100%リサイクルを達成した会社も出てきています。

＜主要 海外グループ会社の名称＞
 NISCO: NISHIKAWA COOPER LLC(アメリカ)
 NTR: Nishikawa Tachaplalert Cooper Ltd.(タイ)
 SNS: 上海西川密封件有限公司(中国-上海)
 GNS: 広州西川密封件有限公司(中国-広州)



CO₂排出量削減の取組み

● CO₂排出量の推移(西川ゴム単体)



CO₂換算係数は、下記の値を使用しました。
 ・電力: 0.555 kgCO₂/kWh(代替値)
 ・A重油: 2.71 kgCO₂/L
 ・LPG: 3.00 kgCO₂/kg
 ※出典: 算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧(環境省)

2015年度も、ライン/設備の稼働率アップなどによる改善活動が功を奏したことなどにより、順調にCO₂排出量の削減を行うことができました。[削減量(前年度比)△1,096t/削減率2.7%]

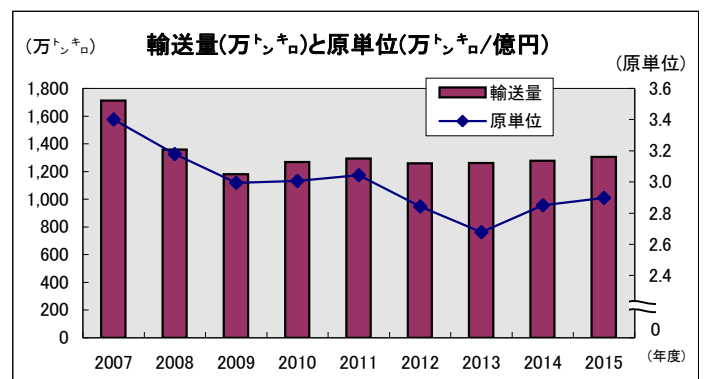
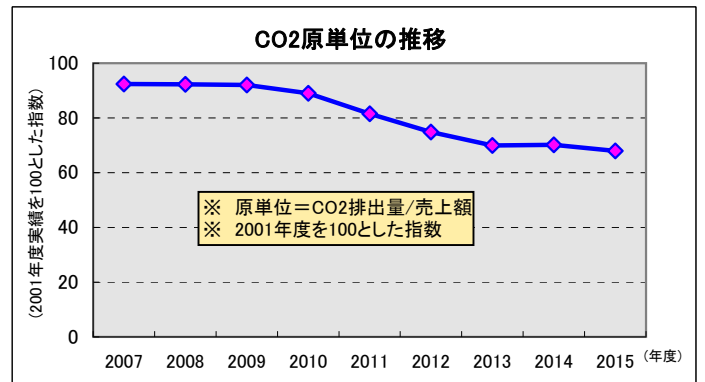
● 物流改善(西川ゴム単体)

当社の2015年度の輸送量は、2014年度に比べ、微増の1,305万トンキロとなりました。売上額で割った原単位は、2014年度に比べ約2%悪化しています。

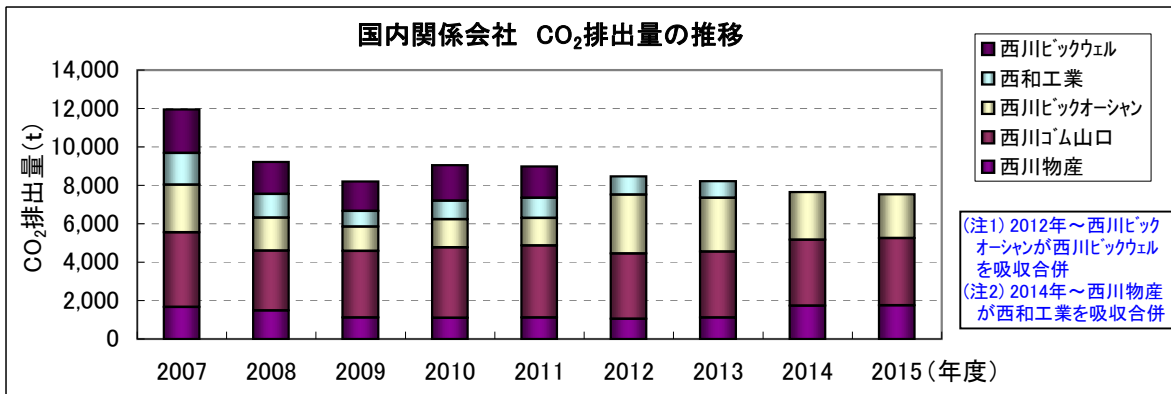
これは、一部ミルクラン廃止等による輸送量UPによるものですが、今後も荷姿の改善による積載効率の向上、物流拠点の統合化による工場間輸送の削減等を継続的に行い、原単位削減を推進してまいります。

● CO₂原単位の推移(西川ゴム単体)

CO₂排出量削減、原単位改善に向けて、生産拠点及び本社等の非生産拠点それぞれに、原単位目標を設定して取り組んでいます。



● 国内グループ会社のCO₂排出量推移

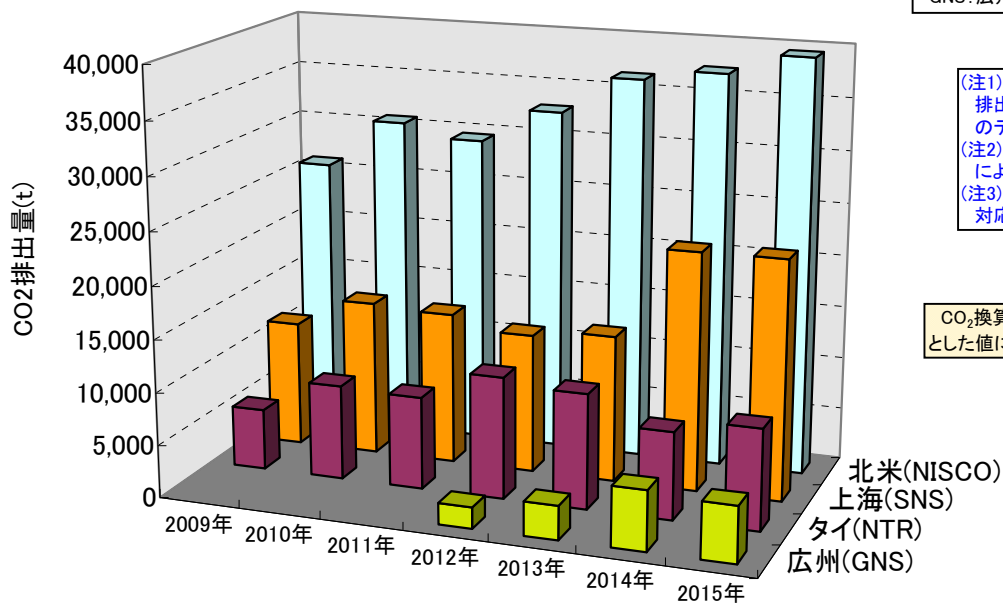


グループ各社も、2008年度より当社と歩調を合わせた省エネ活動を実施しています。
2015年度のCO₂排出量は、前年度比 約1.4%減の7,527tとなりました。

CO₂換算係数は、下記の値を使用しました。
電力: 0.555 kgCO₂/kWh(代替値)
A重油: 2.71 kgCO₂/L
LPG: 3.00 kgCO₂/kg
出典: 算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧 (環境省)

● 主要 海外グループ会社のCO₂排出量と原単位の推移

主要 海外グループ会社 CO₂排出量推移



＜主要 海外グループ会社の名称＞
NISCO: NISHIKAWA COOPER LLC(アメリカ)
NTR: Nishikawa Tachiplalert Cooper Ltd.(タイ)
SNS: 上海西川密封件有限公司(中国-上海)
GNS: 広州西川密封件有限公司(中国-広州)

(注1) 現段階で安定的生産により、排出量把握が可能な拠点(4拠点)のデータ推移
(注2) 海外グループ会社の決算月による年間データ
(注3) 広州(GNS)は、2012年～生産対応を開始

CO₂換算係数は、各国の設定係数をベースとした値によるもので算出されております。

海外のグループ会社におけるCO₂排出量推移は、生産量の拡大により現時点では増加傾向にあります。

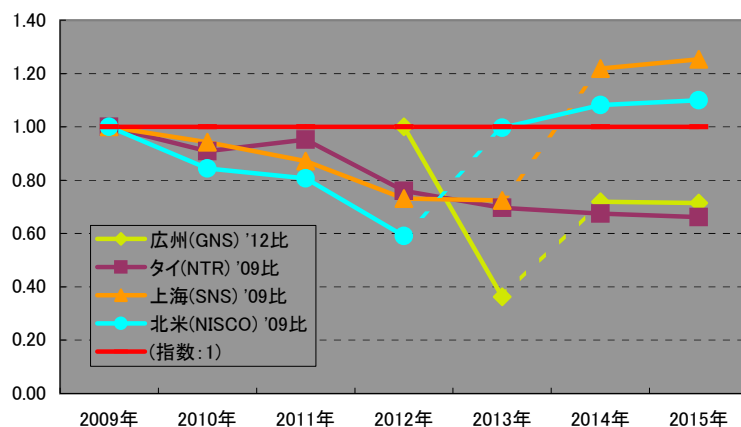
原単位としては、北米で'13年に生産に関わる量の見直しを行ったことで増加。上海/広州では、'14年にCO₂排出係数の見直しを行い、排出量及び原単位が増加となっています。

今後、生産性の改善をすすめ原単位の改善を推進していきます。

＜各拠点原単位算出ベース＞

広州(GNS)	(CO ₂ t/万元)
タイ(NTR)	(CO ₂ t/M baht)
上海(SNS)	(CO ₂ t/万元)
北米(NISCO)	(CO ₂ t/生産千t)

主要 海外グループ会社 原単位(指数)推移

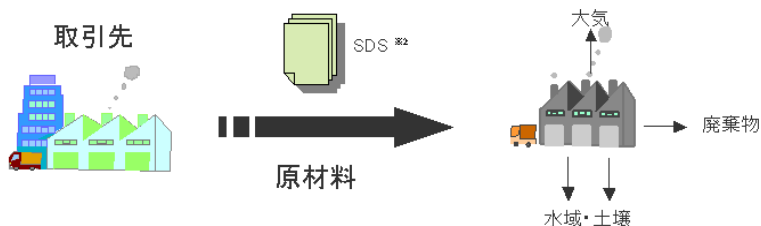


環境負荷物質の排出状況と水使用量

● PRTR物質の削減

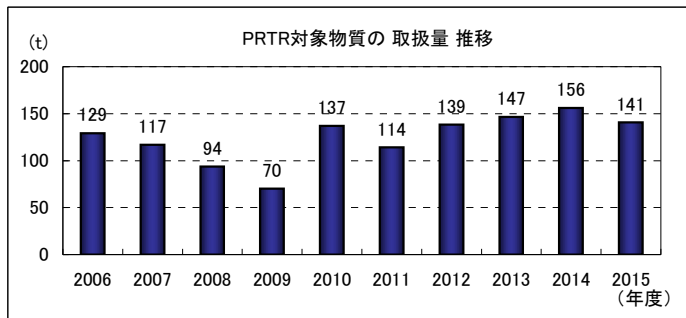
1999年に制定されたPRTR※1法(特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律)に指定された特定化学物質については、排出量を算出しております。
これら化学物質の使用量の削減対策は、製品設計の見直し、改善により取り組んでいます。

- ※1 PRTR : Pollutant Release and Transfer Registerの略
環境汚染物質排出・移動登録制度
- ※2 SDS : Safety Data Sheetの略
化学物質の性状及び取り扱いに関する情報を記載した化学物質安全性データシート

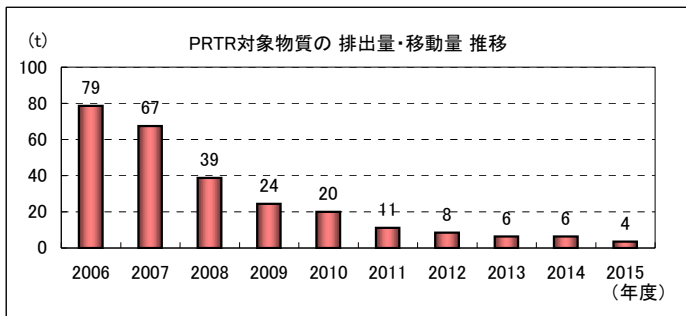


● 2015年度環境負荷物質の移動・排出状況 (2015.4~2016.3)

政令番号	CAS No	指定化学物質	排出量			
			移動量	大気	水質	土壌
42	96-45-7	2-イミダゾリンチオン	0.93	0.00	0.00	0.00
268	137-26-8	テトラメチルチウラムジスルフィド	0.06	0.00	0.00	0.00
300	108-88-3	トルエン	0.11	0.97	0.00	0.00
355	117-81-7	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	0.91	0.00	0.00	0.00
372	95-31-8	ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウムクロリドN-(tert-ブチル)-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミン	0.08	0.00	0.00	0.00
452	149-30-4	2-メルカプトンベンゾチアゾール	0.46	0.00	0.00	0.00
438	1321-94-4	メチルナフタレン	0.00	0.01	0.00	0.00
合計			2.55	0.98	0.00	0.00

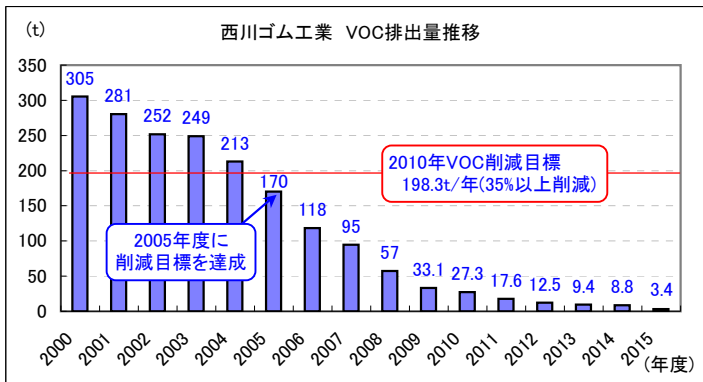


2015年度は、有機溶剤の「トルエン」の削減活動を進めた(継続)結果、排出量・移動量は前年より大幅な減少(△44.1%)となっております。



● 揮発性有機化合物(VOC※)の排出量削減

当社は、日本ゴム工業会のVOC排出量の削減自主規制計画に賛同し、VOC削減活動を実施しています。



※ VOC: Volatile Organic Compounds (揮発性有機化合物)

VOC 17物質
アセトン、イソプロピルアルコール、キシレン、酢酸ブチル、酢酸エチル、シクロヘキサン、ジクロロメタン、テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン、トリクロロエタン、トルエン、n-ヘキサン、メチルアルコール、メチルイソブチルケトン、メチルエチルケトン、ゴム揮発油、その他の炭化水素(炭素、水素のみで構成されるもの)

◎ 日本ゴム工業会のVOC排出削減に関する自主規制計画における削減目標

- ・2008年までに25%以上削減(2000年度ベース)
- ・2010年までに35%以上削減(2000年度ベース)
- ・2011年以降も当面の目標は35%以上削減(2000年度ベース)を継続する

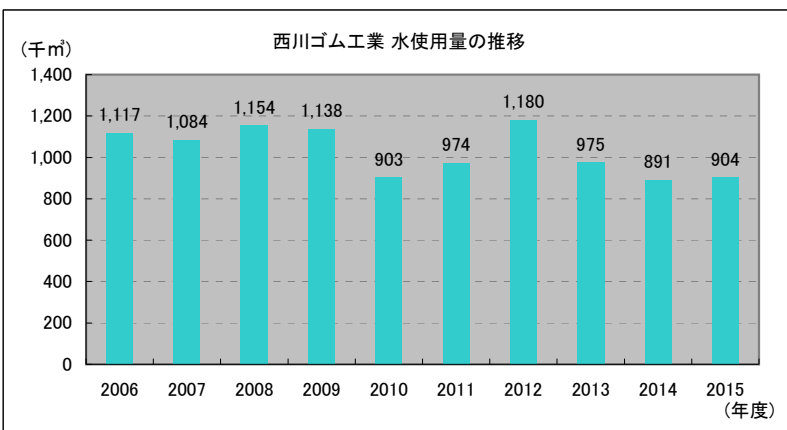
<年間1t以上の日本ゴム工業会が定めた代表VOC17物質で集計>

VOC排出量については、早い時期から有機溶剤塗料の水溶性塗料への切替えを行ってきた結果、日本ゴム工業会の自主目標(2000年度比35%削減)を2005年度には前倒して達成しました。

また、自動車工業会の進める車室内VOC低減活動のために、VOC含有素材使用制限活動を展開しています。その結果、2015年度のVOC排出量実績は、前年度より61%削減の3.4tとなりました。今後もVOC排出量の低減を進めていきます。

● 当社の水使用実績の推移

当社の生産活動における水使用の主な目的は、設備や製品関係の冷却です。
排水の水質監視とともに、使用量の異常の発生を監視しています。



2015年度の環境パフォーマンスまとめ (西川ゴム単体)



《算出方法等》

インプット	原材料	購入した原材料・配合薬品類の量
	エネルギー投入量	工場・事業所における電力、油、ガスの消費量
	PRTR対象物質	工場・事業所におけるPRTR法の対象とされる化学物質
アウトプット	大気への排出	CO ₂ : 工場・事業所におけるエネルギー消費にともなうCO ₂ 排出量 (エネルギー消費量 × CO ₂ 換算係数) NO _x , SO _x : 工場・事業所の排気口(ボイラー等)から排出される 排ガス中の物質濃度を測定した結果に基づき算出
	廃棄物の排出	対象の年度に工場・事業所において埋立処分、単純焼却、リサイクルされた量
	排水量	水資源投入量と同じ値(蒸発量は測定できないため、無視しています)

環境コンプライアンス

● 緊急事態対応訓練

当社では、緊急事態を想定した訓練を実施しています。右の写真は、安佐工場での重油が漏洩した場合を想定した訓練の一例です。



● 低濃度PCB含有機器の管理

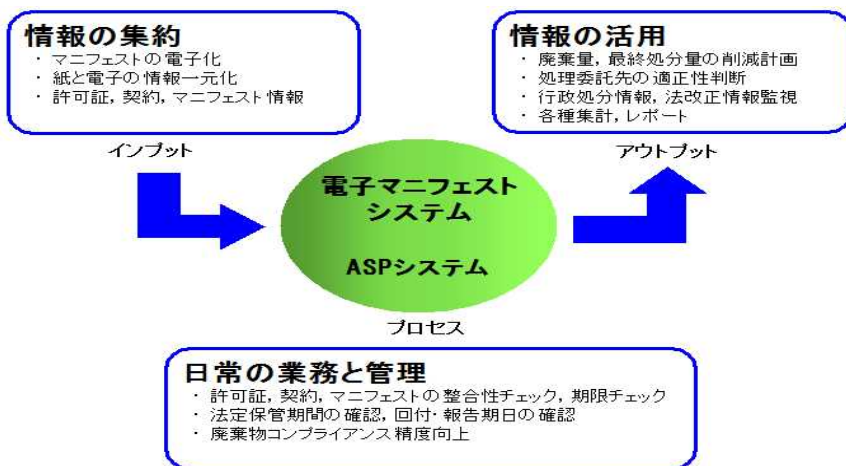
当社には、使用中のものと保管中の低濃度PCB含有機器があり、受電設備の“トランス”や“コンデンサ”があります。



保管中の機器(PCB廃棄物)の管理は、法律に基づき実施しております。

● 廃棄物管理システムの導入

産業廃棄物を一元管理するシステムを、国内Gr各社へ導入し、コンプライアンス違反のリスク低減と、業務コストの改善を推進しております。



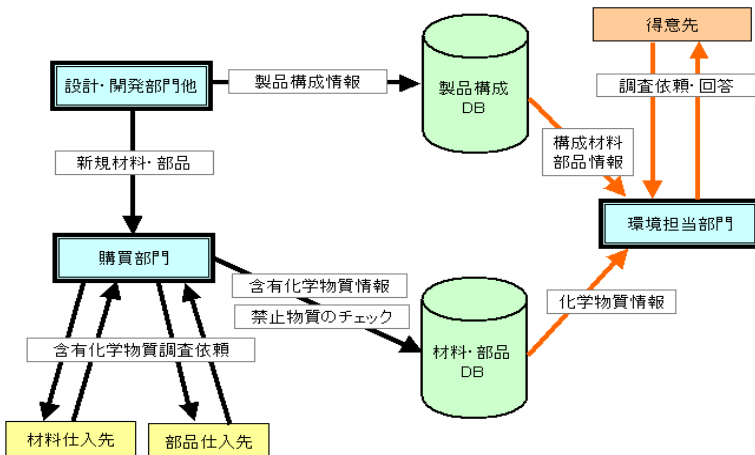
環境負荷物質の管理, 低減

● 環境関連法規制に基づく環境負荷物質(SOC^{※1})管理システムの構築

[西川ゴム工業の製品含有化学物質管理のフロー]

欧州のELV指令^{※2}, RoHS指令^{※3}, REACH規則^{※4}, 法規制やお客様からの要求をふまえ、弊社では使用を規制する環境負荷物質(SOC^{※1})リスト[NSE0001; 環境負荷物質の管理規定]を制定し、右のような体制を構築して、SOCの管理・低減をグローバルで取り組んでいます。

- ※1 : SOC (Substances Of Concern)
- ※2 : ELV (End of Life Vehicles) 指令
- ※3 : RoHS (Restriction of Hazardous Substances) 指令
- ※4 : REACH (Registration, Evaluation, Authorization and Restriction of Chemicals) 規則



地域貢献活動, 環境保護活動, コミュニケーション

● 安佐工場 地域貢献, 環境保護, コミュニケーション

《「久地学区ふれあい大運動会」への参加》

2015年9月20日 久地小運動会へタイからの実習生29名(全員)が参加し地域の方, 児童と一緒に競技に参加し交流を図ることができました。



《「太田川漁協・広大生による吉山川ゼミ」への協賛支援》

今年で2年目の活動となりますが, 広大生による太田川ゼミが安佐工場前の吉山川であり河川清掃を実施しました。



● 白木工場 地域貢献, 環境保護, コミュニケーション

《工場周辺のクリーンウォーク》

2015年4月26日 大型連休前半に総勢60名参加(管理職, 組合員, 外国人実習生)して工場周辺の道路沿いと最寄の上三田駅の清掃を行いました。



《白木中学校 インターンシップの受入れ》



2015年5月12日～13日 白木中学校よりのインターンシップの受入れを行いました。

地域貢献活動, 環境保護活動, コミュニケーション

● 吉田工場 地域貢献, 環境保護, コミュニケーション

《工場周辺清掃》

2015年5月24日
工場周辺の一斉清
掃を実施しました。



《地域でのお祭りへの参加》

2015年7月18日 実習生に
も協力いただき, 今年も地元
のお祭り“一心祭り”へ参加
させていただきました。



● 三原工場 地域貢献, 環境保護, コミュニケーション

《『エヒメアヤメ』自生地の下草刈作業参加》

2016年2月28日, 国の天然記念
物となっている「エヒメアヤメ」保存
のため 保存会・町内会・小中学
校・工業団地企業等の参加によ
り, 下草刈に協力しています。



《工業団地内の清掃活動》

2015年11月17日に, 小原工業団地協議会
主催による清掃活動に参加をしました。



《広島赤十字血液センター来車による献血協力》



2016年2月4日 400ml/人
の献血で19名の方が協力を
させていただきました。



地域貢献活動, 環境保護活動, コミュニケーション (国内関係会社)

● 西川物産 地域貢献, 環境保護, コミュニケーション

《会社周辺定期清掃》

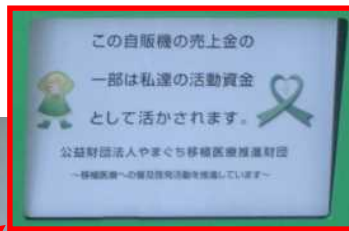
西川物産では、毎月 第2月曜日を「周辺清掃の日」として定期的な清掃活動を行っております。



● 西川ゴム山口 地域貢献, 環境保護, コミュニケーション

《やまぐち移植医療推進財団運営支援型自動販売機の設置》

自販機の売上金の一部が「やまぐち移植医療推進財団」の活動資金として活かされています。



《地域の清掃活動》

2015年9月15日 工場団地内の一斉清掃を行いました。



● 西川ピックオーシャン 地域貢献, 環境保護, コミュニケーション

《地域の清掃活動》

NBO安佐事業所では、西川ゴム安佐工場と共同で、近隣の水口神社を含め地域の清掃活動などに参加しています。



《オフィス内緑化推進》

事務所へ鉢植えを置くなど、少しずつ緑を取り入れています。



地域貢献活動, 環境保護活動, コミュニケーション (海外関係会社)

● NISCO 地域貢献, 環境保護, コミュニケーション

〈海外グループ会社の名称〉
 NISCO: NISHIKAWA COOPER LLC(アメリカ)
 NTR: Nishikawa Tachaplart Cooper Ltd.(タイ)

《“Indiana Environmental Stewardship Program”への登録》

NISCOでは, “Indiana Environmental Stewardship Program”へ参画(参加企業として登録)し, 汚染防止や廃棄物削減の活動を進めています。



《癌学会主催ウォーキングへの参加》

“American Cancer Society” 米国ガン学会主催の, ガン撲滅を目的としたウォーキング大会へ参画しています。



《保存食の地域への寄付》

“Hunger in America”保存食を集め地域の食料庫へ寄付しています。



《“Toys for Tots”》



米国海軍主催で, 恵まれない子供達へのクリスマスプレゼント寄付を募り, 配布しています。

《“United Way/Fund”への参加》

地域の団体と協力し, 地域問題を解決するために資金や人材を活用します。



《“Arc Opportunities” アーク・オポチュニティーズ》

NISCO本社が所在するラグランジ郡, と隣接するノーブル郡へ, 知的発達・発育障害を持った方々へのお仕事を提供しています。



LaGrange County, Indiana

● NTR 地域貢献, 環境保護, コミュニケーション

《地域貢献活動》

2015年6月5日 老人ホームへ洋服の寄贈を行いました。



2015年11月5日 工場周辺の学校へ必要品の寄贈を行いました。



2015年11月14日 近隣の村へ記念品を渡しました。



《サイクリングイベントへの参加》

2015年12月11日 政府機関により開催された「Bike for Dad」(タイ全国規模のサイクリングイベント)に参加しました。



地域貢献活動, 環境保護活動, コミュニケーション (海外関係会社)

● SNS・GNS 地域貢献, 環境保護, コミュニケーション

＜海外グループ会社の名称＞
 SNS: 上海西川密封件有限公司 (中国-上海)
 GNS: 広州西川密封件有限公司 (中国-広州)
 NKI: PT.NISHIKAWA KARYA INDONESIA (インドネシア)

《クリーンウォーク》

(SNS) 工場の周辺の掃除を5月, 10月の2回行いました。

(GNS) 2015年5月31日, 工場周辺の掃除を行いました。



《地域貢献活動》

(GNS) 2015年5月31日, 着なくなった衣類や古着を恵まれない地区への寄付活動を行いました。

《消防中隊への慰問》

(SNS) 2月 松江区永豊街道の消防中隊へ, 春節に慰問を行いました。



● NKI 地域貢献, 環境保護, コミュニケーション

《地域貢献活動》

2015年12月29日, NKI近隣のボジョン地区から, 長期の雨不足による生活用水の不足の声があり, 寄付により新規で井戸の設置を行いました。この地区に住むNKI従業員の協力で, メンテやフォローを行っています。





西川ゴム工業株式会社
NISHIKAWA RUBBER CO., LTD.

作成日 : 2016年7月29日

発行元 : 品質保証本部
環境安全部

連絡先 : TEL 082-237-9330(直通)
FAX 082-238-3983